

当社設定投資信託の基準価額の下落について

2022年12月21日
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

ロシアへの制裁強化等を受け、流動性が十分に担保できない可能性があるとして判断し、投資信託約款に基づき、2022年2月28日より当面、当ファンドのご購入・ご換金のお申込みの受付を停止いたします(基準日時点)。

12月20日(火)、前営業日比5%超下落した当社のファンドは、次のとおりです。

(ファンド名)	(基準価額)	(前営業日比)	(騰落率)
DWS ロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)	426 円	-36 円	-7.79%
DWS ロシア・ルーブル債券投信(年2回決算型)	1,347 円	-113 円	-7.74%

(2022年12月20日現在)

前営業日(12月20日)、当社設定の上記投資信託の基準価額が大きく下落した主な要因としては、以下があげられます。

当ファンドの基準価額算出時にはマザーファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍外国投資信託「DWS ロシア・ボンド・ファンド」を円換算するため、当ファンドの基準価額はルーブル/円の為替変動の影響を受けます。為替市場では、12月19日から20日にかけて、ロシアのプーチン大統領がベラルーシを訪問しルカシエンコ大統領と会談したことから、ウクライナの首都キーウ方面への再侵攻のリスクが警戒されたことに加え、日銀が長期金利の許容上限を0.5%に拡大する等、政策の修正を行ったことを受けて、ロシア・ルーブルが円に対して下落し、当ファンドの基準価額が下落しました。

為替市場の動き(2022年12月19日～2022年12月20日)

	12月19日	12月20日	騰落率
ロシアルーブル/円	2.10	1.93	-8.10%

*為替レートはすべて三菱UFJ銀行公表の対顧客外国為替相場(仲値)を使用

出所: Bloomberg等

<ご参考> 2022年3月1日以降の基準価額変動要因について

・ロシア債券市場の変動による影響について

①2022年3月1日～2022年5月6日の基準価額について

「DWSロシア・ボンド・ファンド」は、ロシア債券市場の取引が事実上不可能であり、妥当性のある個別債券の時価評価が出来ないこと等から、2022年2月25日を最後に基準価額の発表を停止しています。当ファンドの基準価額は「DWSロシア・ボンド・ファンド」の前営業日の基準価額を採用しておりますが、「DWSロシア・ボンド・ファンド」の基準価額発表停止を受け、2022年3月1日～2022年5月6日まで、当ファンドの基準価額は「DWSロシア・ボンド・ファンド」の2月25日の基準価額を採用したため、ロシア債券市場の変動による影響は反映されておられません。

②2022年5月9日以降の基準価額について

ロシアの債券市場が平常の状態に戻る目処は立っておらず、「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の基準価額の発表再開時期も未定であること等を受け、当ファンドの監査法人、ならびに「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の管理会社と協議し、「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の評価を当ファンドの2022年5月9日時点の基準価額算出時より、管理会社の評価に基づいた評価に変更いたしました。

「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の評価方法

- ・ロシア・ルーブル建のロシア国債等は実質ゼロ評価します。
- ・ロシア・ルーブル以外の通貨建の債券は管理会社の評価基準に基づいて評価します。
- ・評価更新タイミングは管理会社が判断します。

なお、当ファンドの基準価額算出で使用している「DWS ロシア・ボンド・ファンド」の評価については以下の通りです。

2022年5月9日～2022年10月24日の基準価額: 2022年4月22日時点の評価を使用

2022年10月25日以降の基準価額: 2022年10月21日時点の評価を使用

・ルーブル/円の為替変動について

当ファンドの基準価額算出時には「DWSロシア・ボンド・ファンド」を基準価額算出日当日の三菱UFJ銀行公表の対顧客外国為替相場(仲値)を用いて円換算(ルーブル/円)するため、当ファンドの基準価額はルーブル/円の為替変動の影響を受けます。「DWSロシア・ボンド・ファンド」の円換算については、2022年3月1日以降も通常通り実施しているため、当ファンドの基準価額はルーブル/円の為替変動の影響を受けます。

当資料は、投資家の方を対象にした情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報等は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用…購入時手数料 上限3.85%(税抜3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用…信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用…運用管理費用(信託報酬) 上限2.068%(税抜1.88%)
- その他費用…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会